## ☑岡本硝子株式会社 経営資源の最適配分

技術開発力の強化 市場 · 従来 · 今後 【お客様】 需要本位の 開発サイクルへ 知的財産権 研究•開発

シーズ・オリエンテッド から ニーズ・オリエンテッドへ (開発志向 から 市場志向へ) Web 2.0 の活用により 『お客様に用途を考えてもらう』

特殊ガラスと薄膜で光を科学する (1) 9

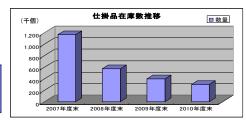
## 経営資源の最適配分

☑岡本硝子株式会社

キャッシュの創出

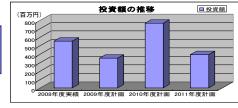
#### 仕掛品の削減

- •内製化の推進
- •工程間の同期化



### 設備投資の見直し

- •償却費範囲内の投資
- •能力増強投資の見直し



#### 遊休資産の売却

•岡本光学科技(蘇州)有限公司の、土地・建物・蒸着機の売却

特殊ガラスと薄膜で光を科学する プレダ 10

# 既存事業の黒字化

☑□本硝子株式会社

原価の更なる低減(コスト競争力の強化)

## コスト構造の改善

- •ガラス製造は、初期の設備投資が多額な装置産業型
- •加工や検査など人的依存度が過大で労働集約型

装置産業型でありながら労働集約型を兼ね、

製造コスト(減価償却費)が高い

### 1. 初期投資の削減→電気炉の小型化や低コスト化技術を結集

- 2. 省人化のための設備投資→方法改善を行い、その後設備改善
- 3. 設備の内製化

## 既存事業の黒字化

┛岡本硝子株式会社

原価の更なる低減(コスト競争力の強化)

### 良品率の向上

- 1. 内製化へ向けての取り組み
- 2. 自工程品質保証体制の確立
- 3. 加エラインの集約・統合



- 1. 標準作業・作業手順書の見直しと徹底
- 2. 工程レイアウトの再編成
- 3. 生産現場の環境整備

